

施設基準が定める掲示事項

敷地内全面禁煙について

当院では、望まない受動喫煙の防止を図るために、病院敷地内での喫煙を禁止しております。

緩和ケアチームによる診療について

当院では、がん患者さんとそのご家族がより良い生活を送れるようにするために、専門チームによる緩和ケア診療を実施しています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が共同して、患者さんの身体的な痛みやその他の様々な症状の緩和、また心のつらさを和らげるためのサポートを行います。

栄養サポートチームによる診療について

当院では、栄養状態に問題のある患者さんや栄養障害になる可能性のある患者さんに対して、専門チームによる栄養管理サポートを実施しています。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの多職種がチーム(NST)を構成し、主治医と連携しながら、患者さん一人ひとりに合わせた最適な栄養ケアを行います。

医療安全に関する相談について

当院では、医療安全に関する患者さん及びご家族様からの質問・相談や、支援の申し出をお伺いする窓口を設置しています。お気づきやお困りのことがございましたら、1階患者支援センター(S1)内「医療相談窓口」までお申し出ください。

院内感染防止対策に関する取り組み事項について

1. 院内感染対策に係る基本的な考え方
当院における院内感染対策は、院内感染から患者を守り質の高い医療を提供すること、病院で働くすべての職員を職業感染から守ることを目的とし、標準予防策の遵守および科学的根拠に基づく対策の実践に向けて病院全体で取り組むことを基本方針としています。
2. 院内感染対策に係る組織体制、業務内容
感染防止に係る部門として「感染対策室(感染制御チーム:ICT)」を設置しています。ICTは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師で構成され、院内感染に係る情報収集や感染発生時の対応、職員への教育などの業務を行っています。また、週1回程度、院内の巡回を行っています。
3. 抗菌薬適正使用のための方策
抗菌薬適正使用チーム(AST)を設置し、抗菌薬の使用状況を監視しています。一部の抗菌薬はASTへの届け出や許可を必要としており、各診療科と連携して適正使用の推進に努めています。
4. 他の医療機関等との連携体制
連携する保険医療機関と、感染防止対策に関する取り組みを検討する合同カンファレンスを定期的に開催しています。また、連携する保険医療機関から感染対策に関する相談を適宜受け付けています。

患者サポート体制について

当院では、疾病に関する医学的な質問や生活上及び入院上の不安等、様々な質問・相談をお伺いする窓口を設置しています。お気づきの点やお困りのことがございましたら、1階患者支援センター(S1)内「医療相談窓口」までお申し出ください。また、支援体制として以下の取り組みを実施しています。

- ・ 患者相談室と各部門が連携して、患者さん及びご家族様の支援にあたっています。
- ・ 各部門に患者サポート担当者を配置し、相談内容に応じて適切な専門職が対応できる体制を整えています。
- ・ 各部門の患者支援体制に係る担当者が参加するカンファレンスを週1回開催し、患者支援に係る取り組みの検討及び評価等を実施しています。
- ・ 患者さんからの相談に関する対応・報告体制をマニュアル化し、職員に遵守させています。
- ・ 患者さんからの相談内容を報告書として取りまとめ、相談件数や相談内容等の実績を記録しています。
- ・ 定期的に患者支援体制に関する取り組みの見直しを行っています。

病棟における薬剤の管理等について

当院では、入院患者さんへの安全な薬物療法と質の高い医療の提供を目的として、各病棟に専任の薬剤師を配置しています。薬剤師は病棟に定期的に滞在し、入院時の持参薬の確認、医薬品の投薬、注射状況の把握、副作用の確認、医師への処方提案、および患者さんへの服薬説明など、適切な薬学的管理を行っております。

入院・退院時の支援について

当院では、入院時及び退院時における患者さんの支援や、地域の医療機関と連携した業務を実施することを目的として、各病棟に専任の入退院支援スタッフ(看護師や社会福祉士等)を配置しています。スタッフは入院前の段階から生活環境や介護保険の利用状況等を把握し、入院後は医師・看護師等と連携して退院支援計画を作成します。さらに、地域の医療機関やケアマネジャー等と密に連携し、退院後の療養環境の整備や在宅復帰に向けた具体的な支援を行っております。

医療情報取得について

当院は、オンライン資格確認を行う体制を有しており、患者様の診療情報(受診歴、薬剤情報、特定健診情報、その他必要な診療情報)を取得・活用して診療を行っております。

電子的診療情報連携体制整備加算について

- 当院では、医療DXを推進し質の高い医療を提供できるように以下のように体制整備を行っております。
- ・ 医師等が診療を実施する診察室等において、オンライン資格確認により取得した診療情報を活用して診療を実施しております。
 - ・ 医療DXを通じて質の高い医療を提供できるように、マイナ保険証の利用促進に取り組んでおります。
 - ・ 電子処方箋の発行及び電子カルテ情報共有サービスなどの医療DXにかかる取り組みを今後導入する為に準備を進めております。

ハイリスク分娩等管理加算について

当院では、ハイリスク分娩管理加算の届出を行っております。
施設基準に係る掲示事項については施設基準一覧をご覧ください。

地域支援・医薬品供給対応体制加算について

当院では、患者さんへの安定的・継続的な医療提供および薬剤の供給体制を確保するため、以下のように体制整備を行っております。

- ・ 医療費の負担軽減や医療資源の有効活用の観点から、後発医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。
- ・ 医薬品の供給不足や出荷停止が発生した場合に、治療計画の見直しや代替薬への変更等、適切な処方調整を柔軟に行える体制を整えています。
- ・ 医薬品の供給状況によって、処方・投与する薬剤や銘柄が変更となる場合には、その理由等を患者様に十分にご説明いたします。

院内トリアージの実施について

当院の救急外来は、患者さんの緊急度を判断し、治療の優先順位の調整など「院内トリアージ」を行う医療機関として届出を行っております。

救急外来を受診される患者さんにおかれましては、トリアージに関する適切な研修を修了した専任の看護師等が事前に症状をお伺いし、緊急性の高い患者さんを優先的に診察いたします。必ずしも受診の順番が受付どおりではありませんので、予めご了承ください。

なお、夜間（午後6時から午前8時まで）や休日、および救急外来を受診される患者さんにおかれましては、院内トリアージ実施料が診療費用に加算されます。 お会計に関することでご不明な点がございましたら計算受付へお問い合わせください。

一般名処方について

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みとして特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（※一般的な名称により処方箋を発行すること）を実施しております。

なお、医薬品の供給状況によっては、処方・投与する薬剤が変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者様に必要な医薬品が提供しやすくなります。

がん性疼痛緩和指導料について

当院では、がんの痛みによる苦痛を和らげ、患者様が安心して治療や日常生活を送れるよう、がん性疼痛緩和指導料の届出を行っています。

緩和ケアに関する専門的な研修を修了した医師や看護師・薬剤師等の専門スタッフが、医療用麻薬をはじめとする鎮痛薬の適切な使用や管理について、丁寧な指導・サポートを行える体制を整えております。

外来腫瘍化学療法診療料1について

当院では、専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時1名以上配置され、患者さんから電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制が整備されています。

急変時等の緊急時に当該患者が入院できる体制が確保されています。

実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しています。

連携充実加算について

当院では、実施される化学療法のレジメンをホームページで閲覧できる体制を整えております。

他の保健医療機関や保険薬局からのレジメンに関する照会や患者の状況に関する相談及び情報提供等に応じる体制を整備しております。

また、地域の保険薬局の薬剤師をはじめ、診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加するがん化学療法に関する合同カンファレンスも定期的に開催し、地域との連携強化に努めています。

詳細はがん診療センターへのホームページをご覧ください。

急性期総合体制加算について

当院では、地域における急性期医療の拠点病院として「急性期総合体制加算」の届出を行っており、以下のように体制整備を行っております。

【外来縮小体制】

- ・ 当院は紹介受診重点医療機関です。地域の他の医療機関との連携強化と逆紹介を推進しています。
- ・ 選定療養費の徴収により、医療機能分化を図り、かかりつけ医制度の更なる促進に取り組んでいます。

【24時間の救急医療提供】

- ・ 当院は救命救急センターを設置しております。
- ・ 当院の救急診療は、24時間体制で対応しております。対応に関しては、重症患者さん（救急車搬送の患者さん、他病院からの依頼患者さんなど）が優先されます。

【入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制】

- ・ 入院患者の急変徴候を早期に捉え、多職種チームで速やかに対応する仕組みとして、院内迅速対応システムであるRRS（Rapid Response System）を導入しております。

【外来化学療法の実施を推進する体制】

- ・ 安全な外来化学療法の推進を行うことを目的に、副作用の発現や緊急時の相談対応について24時間対応できる体制を整備しております。

口腔管理連携加算について

当院では、入院患者さんが安心して治療に専念できるよう、以下の歯科医療機関と連携し、お口の健康管理(口腔管理)を推進する体制を整えております。

連携歯科医療機関

アマリ歯科クリニック	デンタルワン 柏たなかおとなこども歯科
老沼医院歯科	中島歯科医院
大島歯科医院	南柏歯科クリニック
おおの歯科医院	やくやま歯科
柏千代田歯科・小児歯科	永木歯科医院
柏緑ヶ丘歯科	柏いろは歯科おとなこども歯科
神長歯科医院	黒滝歯科
タカシマ歯科医院	すえいし歯科矯正歯科
てらだデンタルクリニック	山口歯科医院